

「オープンラボ」に関するアンケート結果（生徒用）

平成23年8月4日、5日に開催した「オープンラボ」に参加した高校から提出してもらったアンケートをまとめたものである。215名の参加者に対して、204名分が回収された。

I. あなた自身のことについて、伺います。

- ① 男性112名，女性92名でした。
- ② 学年は，1年生93名，2年生78名，3年生33名でした。

II. 「オープンラボ」について、伺います。

- ① 参加は，どのようにして決めましたか。

| 項目 | 自ら | 親 | 担任 | 友人 | 先輩 | その他 |
|----|-----|---|----|----|----|-----|
| 人数 | 100 | 0 | 62 | 25 | 0 | 15 |

その他（学校2名），無回答3名，複数回答1名があった。

- ② 内容については，良く理解できましたか。

| 項目 | よく理解できた | ある程度理解できた | 理解できなかった |
|----|---------|-----------|----------|
| 人数 | 80 | 118 | 5 |

無回答1名があった。

- ③ あなたの満足度をお聞かせください。

| 項目 | 大満足 | 満足 | 普通 | やや不満足 | 不満足 |
|----|-----|-----|----|-------|-----|
| 人数 | 57 | 111 | 28 | 3 | 3 |

無回答2名があった。

- ④ 今後の大学進学や高校での学習のために役立つと思われますか。（複数回答可）

| 項目 | 進路に役立つ | 高校での学習に役立つ | 役立つとは思わない |
|----|--------|------------|-----------|
| 人数 | 160 | 57 | 11 |

- ⑤ 実施時期について，どの時期が最もよいと思われますか。

| 項目 | 7月下旬 | 8月初旬 | 8月中旬 | 8月下旬 | その他 |
|----|------|------|------|------|-----|
| 人数 | 81 | 106 | 10 | 3 | 4 |

その他（10月1名，11月1名）があった。

- ⑥ 時間数（3時間）についてお尋ねします。

| 項目 | 増やして欲しい | 現状で良い | 減らして欲しい |
|----|---------|-------|---------|
| 人数 | 30 | 164 | 9 |

無回答1名があった。

- ⑦ 今後参加したい学部があればチェックしてください。（複数回答可）

| 項目 | 医 | 歯 | 薬 | 水産 | 工 | 環境 | 教育 |
|----|----|----|----|----|----|----|----|
| 人数 | 62 | 15 | 88 | 18 | 81 | 20 | 17 |

Ⅲ. 「オープンラボ」についての感想をお聞かせください。

- 私は今回工学部に参加させて頂きました。最初はとても緊張していたのですが、先輩方が優しく接して下さり良かったです。オープンラボに初めて参加していろいろな試験をしてとても良い経験になりました。一番印象に残ったのが、ひびの動きを見たことです。普段まったく動いていないひびが開いたり閉じたりしているのを見てとても感動しました。生活する上でよく考えることはない、「壊れる」ということを学ぶことができ、ますます構造工学に興味を持ちました。私は長崎大学に進学することを志望しており、今回の貴重な体験をさせていただきありがとうございました。これからがんばります。
- 先生や学生方の説明が丁寧でわかりやすく、とても楽しい時間をすごすことができました。大学は高校よりも学びたいことが学べていいと思いました。
- 今回初めてオープンラボに参加して、普段高校ではなかなかできない実験ができて、とても楽しかったです。他校の生徒との交流や大学院生との交流もとても楽しく、長大の薬学に行きたいと本当に思いました。ありがとうございました。
- テレビで見たり、実際に体験したりでき、講義の内容がわかりやすかった。
- DNAの実験では、実際にDNAを見られたり、たくさんの薬品について楽しく学べたりすることができました。細胞の実験では、様々な細胞を見ることができたので生物の授業でとても役に立ちそうです。ありがとうございました。
- 今回、植物から成分を抽出するという初めての実験を行うことができました。講義を聴いてこれからの薬の可能性の大きさととても興味を持ちました。これから決めていく進路に役立てていきたいと思いません。
- 今回はいろいろと勉強になって良かったです。また、機会があったら参加したいなと思います。
- 楽しかったです。たくさんのお話もできて良かったです。
- 身近にある植物の薬用成分や効果について学ぶことができておもしろかった。珍しい実験器具を見ることができて良かった。
- 私は、薬用植物を調べる実験をしました。植物園にはたくさんの植物があり、とても興味深いものでした。先生の話もおもしろく、実験もとても楽しくためになるものでした。大学生の先輩達も優しく接して下さったので、また来たいと思いました。本当に楽しかったです。
- 憧れの医学部でオープンラボに参加することができ、とてもうれしく楽しかった。内容は少し難しい部分もあったが、生物で習った知識を総動員して何とか理解することができた。そして、何よりも実際に実験器具に触れることができ、改めて医学に進みたいという思いが芽生えた。本当にいい経験になりました。ありがとうございました。
- 楽しいオープンラボでした。また、機会があれば行きたいです。
- どの学部がどんなことをしているのかが詳しく分かってとてもいい体験ができました。
- 私は薬学部の講義に参加させていただきました。先生や学生さんの皆さんがとても親切で安心しました。また、少人数のため、丁寧な説明や豆知識なども教えていただき、とても楽しい時間を過ごせました。私は小さい頃から草花が好きで、大学の薬草園の草花について説明を受けたときは、とても楽しく、勉強になりました。これから先自分がどんな進路を選ぶかは分かりませんが、以前から興味があった植物を利用した薬作りというものに関われるといいなと思います。来年また機会があればぜひ参加させてい

ただきたいです。

- セラミックのことについていろいろなことを知りました。簡易ソーラーパネルをつくったり、ガスセンサーの実験をしたりととてもおもしろかったです。
- 普段行っていることを、実際に体験でき、大学のことについて身をもって知ることができました。また、大学生ともふれあうことで大学生活についても知れて良かったです。
- オープンラボに行って薬学部で化学実験のようなものをしたのが一番楽しかったです。私はもともと実験が好きで、いろいろな見たことのない機械を使ったり、薬品の名前など聞けたりできて良かったです。実験中の経過で、だんだん色がでてきたり、水と油が分かれていく様子を見られたりしておもしろかったですし、大学生ともいろいろ話すことができて良かったです。また、植物園に行って葉っぱを食べたり、においをかいだりするの少し抵抗がありましたが、だんだん慣れてきました。とても興味深い話が聞けたので、これからの学習に役立てるようにしたいです。
- 今回のオープンラボでたくさんのことを学びました。植物の名前や生薬の効能などを知ることができました。ウコンには、季節によって使う方法が違うことを覚えておきたいです。実験はとても楽しかったです。今まで使ったことがない水溶液などの名前も教えていただきました。とてもいい経験になりました。ありがとうございました
- 少し難しかったです。でも、大学の学科選択に役立つと思いました。
- 今回、地デジアンテナをつくらせていただきました。とても満足しました。またこのような機会があったら参加したいです。
- 自分がパソコンに入力したように機械が動いてすごく楽しかったです。大学で学ぶことが分かってとても楽しかったです。
- 細胞についていろいろなことを学んだ。学校では見たことのない機械を使って、いろいろな細胞を見た。DNAを取り出すことができたのが一番心に残った。普通に目に見えて驚いた。難しくて分からないところもあったけど、わかりやすく教えて下さったので何となく理解することができた。少人数で実験とかもできてとても良かった。
- 教授や大学生のみなさんが優しくいろいろなことを教えてくださって、楽しくためになることができてよかったです。しかし、3時間はとても短く、内容ももう少し知りたいことがあってもものたりなさを感じました。
- 大学の方々の対応がとても優しくてすごく楽しむ事ができました。やはり、大学の知識は細かいもので、高校では触れる事のできないものだったから、参加できてよかったなと思いました。自分自身が大学に進学する上で、どのような事について学ぶのか、今のうちに細かく調べていきたいと思います。
- 時間が足りないように感じました。休憩をはさみながら5時間以上は欲しいと思います。その中で実際の製作体験等も入れていただければもっと良いと思います。
- 時間が少なすぎて、あまり深くできなかった。もう少し時間があればもっと詳しくできて、楽しく体験できるだろうと思った。
- 実際に講座を受ける前はPE（パワーエレクトロニクス）について何の知識もなく、自分に理解できるだろうかと少し不安もありましたが、大学の先生がすごくわかりやすく説明して下さったので、とても興味がわきました。話を聞いてみると、PEが実はエアコン、テレビなどの家電製品や、携帯の充電器な

ど、すごく身近な場面でたくさん使われており、役立っていることがわかりました。自分の進路選択にもつなげられたので、とても良い経験になりました。

- 今回のオープンラボでは主に電気についての話で、とても興味深いものでした。身の回りの物には、パワーエレクトロニクスが活用されていることを知る事ができました。どのようにして、電力会社からの電気を変換し、活用しているのかがおもしろかったです。私は将来新エネルギーの開発や効率のよい供給の発見をしたいと思っているので、今回の講義はとても参考になりました。プログラミングの方では速度の調整をしたりして、速くコースを回れるようにすることができて楽しかったです。今後も身の回りのエネルギーに目を向けて、生活していこうと思います。
- おもしろかったです。プログラミングは楽しかったです。今回は C 言語でしたが、次はベーシックなどの違うプログラミング言語もしてみたいと思いました。ありがとうございました。
- 今回のオープンラボは僕自身の意志ではなく、担任の先生から行きなさいと言われたので行きました。しかし、オープンラボに行くと、先生や大学の生徒の方たちの話がとてもおもしろかったし、自分の興味のあることを詳しく説明してくれ、いろいろなことを体験することができました。なので、また次にオープンラボがあるなら自分から積極的に参加したいと思います。
- PIC マイコンを使って LED の点灯・消灯プログラムについて 2 進数や 10 進数、10 進数を用いて LED の押しボタンにプログラムを打ち込み、自分のやりたいようにボタンを操作したりすることができた。他にも、ステッピングモーターという電磁石に電流を流して磁化し、回転軸の磁石を引きつけることで回転する機械であり、その中で、特に興味をもったのは、1 相励磁方式と呼ばれるものや、2 相励磁方式、1.2 相励磁方式と呼ばれるもので、これも PIC マイコンを用いて動かす事ができるということに驚きました。
- 私は創薬を体験しようということで、アセトアミノフェンの合成という実験をしました。実験は、再結晶をしたり、初めて吸引ろ過という方法でろ過をして楽しかったです。器具も最新のものが多く、説明も丁寧に下さり、とてもわかりやすく楽しく実験をすることができました。初めて創薬を行い、薬をつくるのにはとても時間がかかるのだと改めて理解しました。このオープンラボで学んだことを今後にかし、将来社会に役立てていけるよう、がんばりたいと思います。
- 薬学部のオープンラボに参加させてもらいました。実験内容はとても興味深く先輩方や教授の説明もわかりやすくとても面白かったです。
- 今回参加させていただいたのですが、大変迷惑をおかけして申し訳なく思っています。大学院生や教授に優しく接していただき、とても有意義な研修だった。TCL という実験方法で、まだしたことはなかったが、発展的な内容の実験が行うことができ、これからの学習につなげていける研修にすることができたと思う。また、たくさんの薬草を紹介していただいたのだが、アヘンが鎮静剤としても活用され、道端に生えている雑草が漢方薬に含まれていることなどを知り、知識の幅が広がった。命の救うためには、植物の力をかりるという方法もあるのだと実感した。8月18.19日にまた、長崎大学医学部を中心に SSP があるので、またたくさんのお話を学べると思うと、とても楽しみです。
- 最初はパソコンを使って迷惑をかけるかもしれないなど、不安や心配がありましたが、優しくわかりやすくわからないところも丁寧に教えてくれたのでとてもよかったです。楽しくおもしろく、次にまたオープンラボがあったら参加したいと思いました。

- 初めてとてもリアルな実験を体験できてすごく楽しかったです。実際に市販の「ルル」をつぶして成分を調べて、それと同じ成分を自分で作りました。今の化学の応用という感じで実際に自分で作ってみることですごく楽しめました。私は将来化粧品の開発などをしたいと思ってるので、すごくイメージがわいてとてもいい経験になりました。すごくわかりやすく楽しかったし、リアルな器具とか手袋とかできて、実際に仕事をしてるような感じになりました。今回のオープンラボで自分の夢実現に向けて気持ちが高まったし、大学受験に向けてのモチベーションが上がりました。ありがとうございました。
- オープンラボで「創薬」を行いました。研究室は初めて見る者がすごく多くて、手袋やめがねをしたりすごく本格的な研究室ですごかつよかったです。大学院生や先生もすごくわかりやすく丁寧で優しく、今まで使っていた薬などをしっかりと考えたりするのは初めてで楽しかったです。私は今回参加したオープンラボの進路を希望してなかったけど、すごく興味を持ったので少し調べてみようと思います！
- 今回のオープンラボは自分にとってとても良い経験になりました。PTC マイコンについての講座で受けましたが、私にとってとても興味のある分野だったので、自分の夢に対する思いをさらに向上させることができました。私は九州大学を志望していたのですが、長崎大学にかえようかとも思いました。その大きなきっかけとなった理由は、大学で体の自由な老人の方々のために機会を作って実際に使っているということです。このような形で大学で学びながら地域社会のためにできることがあるということがすばらしいと思いました。私もぜひ長崎大学で学びたいと思いました。
- 普段できない経験ができてとても楽しかったです。今後の進路について考える参考になると思います。ただ、実施時間について3時間はちょうどよかったですが、間に休憩時間があつたらよかったです。
- 今回は、今までに自分があまり考えたことがなかった薬学部の見学に行き、薬用植物について学びました。長崎大学の薬学部には、様々な薬用植物が植樹されてあつて、ケシなどの麻薬も厳重な警戒の中で栽培されてあつて、すごいなあと思いました。それぞれの効果がいろいろあつて、他にどのような薬用植物があるのか興味を持ちました。
- 楽しかった。言葉は知っていたけど、どこに使われているのかとか仕組みとか詳しく知らなかったので、体験することができて本当に良かった。学校では学べないことばかりだったので行って良かったと思う。今後に生かしたい。
- 楽しかったです。結晶の形がきれいにできていたので嬉しかったです。大学では初めて見る機会もたくさんあつておもしろかったし、いつもこんな実験をしているのかなと思うと、すごいと思いました。大学の実験を経験するいい機会になりました。いつかまた機会があつたら参加したいと思います。
- 学校ではできない体験をできて楽しかったです。このような機会があればどんどん参加したいと思いました。薬学部のオープンラボにいて、普段はあまり知らない薬のことについて知ることができてよかったです。
- 初めてクロマトグラフィーで実験したのでワクワクしました。指導してくださった先生や大学生の方もとてもフレンドリーで親しみやすく質問にも丁寧に答えてくださり、本当によい経験になりました。また来年もできたら積極的に参加したいと思います。
- 初めて大学の実験室で実験をしました。大学は高校と違って実験器具が豊富でとてもびっくりしました。また、専門的な実験で今までしたことがなかったので、とても楽しく勉強にもなつてよかったです。は

やく大学に行って実験をしたいなと思うことができました。

- 7月のオープンラボにも参加したので二回目だったのですが、大学の設備を目近でみたり、先生型のお話をきいたりすることができてとてもいい体験ができました。大学生や大学院生の先輩も実験に協力して下さり、嬉しかったし先輩を目標にしてがんばろうと思いました。オープンラボに参加したことで大学はどういう所なのかイメージが付き長崎大学水産学部に入学したいと強く思いました。
- オープンラボでは、プログラミングをして機会を動かす勉強や自転車、家電製品などの話をして下さいました。先生の話聞いてわかったことは、電車はモーターか回転の種類によって乗り心地が違ったりすることです。それか、最近のエアコンの開発では赤外線によって人がいる所だけに集中して風を直接当てることが出来て、人がいなくなったら、エアコンが消えるという便利になってきていると話してくださいました。最近の電化製品はすごいなと思いました。最後におもちゃの車をプログラミングをして実際に走らせてました。プログラミングを初めてやって最初は全く意味わからず、プログラミングの本の中に書いてある通りにパソコンを打ち込みました。そして、先生の簡単な説明によって理解をすることが出来ました。このオープンラボの授業を受けたことによってとても工学部に興味を持つことが出来たのでよかったです。大学で工学の勉強が出来るように勉強していきたいと思います。
- この前のオープンラボでは構造物の耐久性の実験をしました。そのなかで、構造物って不思議だなと思いました。材料が違っただけで何倍も重量が変わってきたり、同じ材料でも温度の差で破壊されるとき音が違ったり、破壊された時の断面が違ったりと興味をもつことばかりでした。また、金属や構造物撫でにも疲労があることに驚きました。今回のオープンラボで、高校では体験できないようなことをたくさん体験することが出来てとても楽しかったです。
- 初めて行かせていただきましたが、非常にキレイでいい大学でした。講師の方もその助手の方も非常に優しくて教え方が上手だったのですぐに理解できました。内容的にも、非常に楽しめました。自分たちで実際にコンピュータを作って車を動かしたりしました。しかしながら、なかなかうまくいかず…。単純でありながら、なかなか難しかったです。(自分たちが慣れてなかっただけだと思うんですけど) また、オープンラボに参加したいです。
- このオープンラボでは、微生物についての話や、光る微生物、温度を測る実験などしました。微生物の話では、高校の授業では、あまり習ったことのない部分を聞いたのでとてもいい勉強になりました。光る微生物と温度を測る実験はどちらも普段できるような実験ではないので、とてもいい体験になりました。光る微生物は、家に持ち帰って観察をすると、暗い所で光り、線も太い所や細い所があり、観察をしていて楽しかったです。この度はこのような貴重な体験をさせていただきありがとうございました。
- 今回のオープンラボの実験で一部分とはいえ、大学でどのようなことをするのか知ることができて良かったと思います。この経験を進路選択に活用したいと思います。
- 今回のオープンラボでテレビでしか見たことのような大きい実験も間近で見ることができて良かったです。話は難しくてやっぱりレベルが高いと思いました。今回の体験は滅多にできることではないので、本当に良い体験ができたと思います。
- 私が一番印象に残ったことは、細胞培養と細胞小器官の観察をしたことです。高校とは顕微鏡などの機械から違い、やっぱりすごい所だなあと思いました。その細胞を培養する部屋では、たくさんの機会があり、少しも細菌が入らないようにする工夫もされていました。一年生だからだめだったけど、薬学部

での薬を混ぜるような実験もしてみたかったです。

- オープンラボではアンテナ作りをしました。時間はかかりましたが、作業は楽しく、完成した時はきちんと電波を受信できるか心配でした。でも試してみた時にきちんとテレビが映った時はうれしかったです。他の人もきちんとテレビが映ったので良かったと思います。
- 少しわからない部分があったけどだいたいわかったのでおもしろかった。高校の授業よりも専門的なことだったのでくわしく知りたいとも思った。実験もとてもおもしろく、興味を持つことができた。
- 今回、オープンラボで長崎大学に行き良い経験をすることができたと思います。初めて見る実験器具や普段見られない物を見たりしてとても良かったです。また逆に普段あるものでモーターを作ったりしてなど驚きもありました。今後もまたこのような機会があればいいです。本当に今回は良い経験となりました。
- 興味のある工学部を実際に見ることができ、大学への関心が高まりました。次回もぜひ参加しようと思います。
- 実験器具が多くわからないことも多かったですが、講師の方や大学生の方に優しく教えてもらって楽しいオープンラボになってきてよかったなと思うことが出来ました。ありがとうございました。
- 今までに使ったことのない機材を使い、DNAを取り出すことが出来ていい体験ができました。やったことのないことなので、とても良かったです。
- 私は今回、物がどうして壊れるのかということについて学びました。初めて知ったことばかりだったけれど、前から思っていた疑問が少し解決してすっきりしました。まだ今後の進路について決めていないので今回のことも参考にして考えていきたいです。
- 高校で学習した部分の電気があり理解することができる部分もあったので良かった。ヘロンの噴水と実験は興味深かった。
- たいへん濃く、将来の進路を決める時、これからの目標に向けて頑張るための糧になりました。次回があり、都合さえあればもう一度参加したいと強く思いました。
- オープンラボではいろいろな実験を見て、電池からの電磁力の力を目で見ることができ、とても不思議なものを見てとても嬉しく思いました。どうしても発電は火力や原子力が必要となるけれど、電機はそれでも生活に欠かせないものなので、もっと知っていききたいと思いました。また、液体窒素のかたまりが宙に浮いたとき、マジシャンもこんな感じのしくみをもってるのかな？とか思っておもしろかったです。もっと不思議な現象を見て、未来で新たな機能やエネルギーを持ったものを作りたいと思いました。
- 今回のオープンラボでやった実験はどれもおもしろく、驚くものばかりでした。次回また参加する機会があれば、また実験したいです。
- 今回のオープンラボで理工系の大学に進学したいと思いました。
- 医学部のほうに参加させてもらいましたが、細胞について話を聞いたり、実際に見たりして、とても勉強になりました。DNAだけを取り出すのを実際にしてこんなことができるのか、すごいなと思いました。
- まだ習っていない事を話したりしていたので、わからない事がたくさんあったが、そういう言葉はプリントに書いてあるし、メモしているのでその言葉を習ったりして理解できるようになったら改めてメモやプリントを見て勉強する。また、初めての体験やできないだろうと思っていた事を実験でみる事ができ、

科学の可能性をととても感じた。また機会があれば参加したいと思う。

- オープンラボに入って見て興味深いことばかりで、DNAなどのすごく身近なものを調べたよかったです。
- 今回のオープンラボでは普段接する事の出来ない学習内容に触れる事が出来たので、とても貴重な体験だった。この体験は将来の進路を決めるのにととても参考になった。次のオープンラボにも参加してみたい。
- 今回脳についての講話ということでとても興味深いお話を聞かせていただきました。もともと僕は脳に興味があったのでとても参考になりました。
- 今回の「オープンラボ」で高校と大学の違いをたくさん学ぶことができ、また貴重な体験を受けることもできました。将来の進路もこれを活かして決めていこうと思います。
- このオープンラボで普段学べないことを学ぶことが出来ました。このオープンラボで学んだこともこれからの生活や学習にいかしていきたいです。
- 「オープンラボ」では実際に大学で行われている実験をすることができるので、自分の学びたい進路を決めるきっかけになっていい体験だったなと思いました。高校では使えないような実験器具を使うことができるととても楽しかったです。オープンラボですごした三時間があったという間でした。またこんな体験ができたらいいなと思いました。
- 炭素三重結合からなる分子ワイヤーの機能についての実験をしました。今回使った物質、複核ルテニウム金属錯体は世界に4か所しかないものでそんな貴重な物質を使えて良かったです。大学は高校と違い、設備が整っていて何もかも本格的で新鮮でした。今回わからなかった実験の内容もこれから勉強してわかるようになりたいです。
- オープンラボではすごく難しそうな講義だったけど、先生もお手伝いの大学のお兄さんもすごく丁寧に説明して下さいだったので理解することができました。実験も楽しく行えたので良かったです。すごく貴重な体験ができたと思います。
- 私は、脳やホルモンについての講座を受けましたが、脳の機能やホルモンの作用、脳に障害のある病気についての説明を受け、興味を持つことが出来ました。次回もぜひ参加したいです。
- とてもよい経験が出来ました。長大に行くのも初めてで、いいところだなと思いました。帰りに大学生の方もいらっしやったので、大学生の生活も少しのぞけたかなと思いました。大学生になるのが少し楽しみになりました。講義もとても興味深くとてもいい経験になりました。
- 私は今回、薬について学ぶことができ、将来薬学系へ進みたいと思っている私にとっては、とてもいい経験になりました。また、実際、学部の研究室にも入ることができ、大学についてもたくさん知ることができたので良かったです。すごく充実した三時間を送ることができたと思います。
- 私はDNAを見るという講座に参加しました。VTRとか難しいことばかり言っていて分かりませんでした。先生方の実験をみながら説明をうけたので、今までわからなかったことがだんだん分かってきました。DNAを自分で取り出したときは、私たちでもこのようなことができることにととても感動しました。
- 脳科学というと、どうしても小難しいイメージがありましたが、今回オープンラボで講座を受けて、思っていたよりもわかりやすくおもしろいと思いました。指の長さの話や、リスクテイカーの話など、とても興味深いと思いました。進路のことを考えるきっかけにもなったので今後も機会があればまた参

加したいです。

- 勉強にもなるし、大学を決めるのにも一石二鳥なのでいいと私は思います。また、このような体験があるならやりたいと思います。
- 内容は難しかったけど楽しかったです。
- 自分の目標である長崎大学の工学部の見学やさらに講話も受けれてとても有意義だった。
- オープンラボでは授業では習っていないことを学ぶことができ、説明も理解できるまでしてくれたり、とても充実したものでした。実験を実際に体験できたりと、他では経験できないこともすることができ本当に良い三時間だったと思います。
- とても楽しく実習をすることができてよかったです。また行きたいと思いました。
- 暗号について教えてもらいましたが数列を習っていなかったので、分からない部分が多かったです。でもこれまでどうしても個人情報をも特定の人にだけ送ることができなかったのに対し、そして特定の人だけに情報を送ることができる仕方を教えてもらったとき、とても感動しました。教えてもらった部屋の中には数学の本がたくさんあって時間がなかったので読めませんでしたが、とても数学に対する興味が湧きました。三時間があったという間に過ぎたので、またオープンキャンパスがあったらぜひ行きたいです。
- 教の長崎大学のオープンラボを通していろいろと面白い内容があり、とても楽しいものでした。僕は「マイコンを作ろう」という講座に参加しまして、僕はプログラミングをしたことがほとんどなかったのですが、大学生の先生のみなさん方が丁寧に指導して下さいのおかげで始めてプログラミングでも楽しくしっかり理解することができたので本当によかったです。大学生の先生方はとても親切でとてもよい講座になっていたと思います。また参加したいと考えています。
- 今まで、やったことのない実験をやらせてもらったり見たことのない顕微鏡（倒立型）を使わせてもらい、とても良い経験ができました。また細胞培養をする際に、クリーンベンチを作って、無菌状態を保っているというのを知り、すごいなと思いました。僕は長大の医学部医学科に進学したいので、この経験を機に長大の事をしれよかったです。
- 実際に大学に足を運び、講義を受けられることなど滅多にないので、とても貴重で良い経験ができたと思います。私は第二希望の講義だったので、最初は第一希望の講義を受けたかったと残念な気持ちでしたが、実際に受けてみると、普段は聞けないお話や参加しなければ体験することがなかったであろう研究機材に触れることができ、自分の今までの関心のなかった分野に興味を湧き、逆に視野が広がって良かったと思いました。
- ミトコンドリアや普通の学校ではみることができないものを見せてもらえておもしろかった。最初は全然細胞について興味がなかったけど、細胞について興味をもてるようになってよかったです。
- 日頃から、脳について興味があったのでオープンラボに参加してみました。脳について最初に教えてもらった内容は、高校の生物の授業で一度勉強をしていたので、改めて頭の中に入ってきました。検査は、いろいろあって楽しかったです。結果がわからなかったことが、残念でした。研究に使ってもらえるときいて少し、わくわくしました。紙にアンケートみたいに書き込む検査は、量が多くて大変でした。大学に行くことは緊張しましたが優しく教えていただき、楽しかったです。ありがとうございました。
- 今回のオープンラボに参加して、大学進学のためにいろいろ役に立つ話などが聞けて、とても貴重な体

験ができたと思います。また、今回の授業は、すごくわかりやすく楽しい授業でした。高校とは違った雰囲気味わえたことや実際に目の前で実験をしてくれたし、丁寧でとても充実した一日を体験できました。

- 今回のオープンラボでは「蛍光蛋白の観察」というテーマのところへいった。最初の蛍光蛋白の説明では、あまり理解することはできなかつた。けど、実験・観察をしていくうちに新しくわかつた点などがたくさんあつて、楽しかつた。蛍光蛋白の作製では慎重に作製することができた。すごく難しい薬品ばかり使つていたので蛍光蛋白はそれなりに難しいんだなあと思つた。僕がこのオープンラボで一番楽しかつたことは、すごく慎重にしないと失敗してしまう難度が高い蛍光蛋白を容易に流し込むところです。僕は一番最初にしたので少し緊張してとても不安だつたけど、すごく慎重にすれば意外に簡単にできました。僕はそれを失敗することなく全て成功したので良かつたです。
- 「有機合成科学体験」を体験して、先生の講話の内容が一年生にとって理解しにくいことが多くありました。薬学部の実験室にはさまざまな実験器具があつてとても興味を持つことができました。薬学部の実験自体は地味だつたけど、薬品などを色々使うのでとてもおもしろそうと思つました。体験をしたことを生かして進路を選んでいこうと思つました。下村先生の博物館を見学し、写真撮影を禁止されているのを見ることができ良かつたと思つます。あと、メダルのレプリカを触ることができ、かなりテンションが上がりました。
- 今回のオープンラボはとてもおもしろかつたです。“心”を生み出す脳の不思議という講座を選んで、脳の研究ってどうしているのかな、と不思議に思つていたけど、話もとてもわかりやすかつたです。ほほの細胞をとつたり、唾液をとつたりして実験するのは理科や生物の実験でもやつたことがあるので、大学でもやつているんだなと思つました。行動実験では、実際に顔の判断やゲームみたいなハイリターンハイリスクを好むのか、ロウリターンロウリスクを好むのかを調べたり、指の長さを測つたりして、楽しみながら学ぶことができました。脳波の測定では、何も考えていないときと一生懸命考えている時では全然違つていて、自分の脳の動きが見れておもしろかつたです。研究をするのも、とても楽しそうだと思つました。視野を広げて将来につなげていきたいです。ありがとうございました。
- 普段、道端になにげなく生えている植物にも人の病気を治したり、心を癒す作用があることに驚きました。また、その植物は陸上だけでなく、海中にも多く存在していると聞き、将来研究してみたいなと思つました。そして、実際に薬用植物の成分の分析実験を通してとても細かくて根気のいる作業だなと感じましたが、何度も繰り返していくうちに、新しい発見があるんだなと思つました。今回のオープンラボは将来の進路選択に大きく影響したので良かつたです。ありがとうございました。
- 今回のオープンラボでは脳と心の関係についての研究を見ました。心と脳には密接な関係があると聞いていたので、興味深い話が聞けて良かつたと思つます。実際に自分の志望するキャンパス内に入り、掲示板や大学内はどうなつているのかをみることは非常に良い経験となりました。ただ話を聞くだけではなく、「体験」を交えてのオープンラボだったので最後まで楽しく過ごせました。
- 今回の「オープンラボ」では僕は「暗号と素数」というのを選択しました。この話はとても興味があつて決めました。今までは理学部しかないのかなと思つていましたが工学部の情報工学もいいなと思つました。この話はとても興味を持つたまま三時間ずっと話を聞いていたのでよかつたです。この「オープンラボ」はこれからの進路選択で大きな影響を与えていると思つました。そしてこれからも勉強をがん

ばりたいと思いました。

- このオープンラボについては、とてもいい体験になりました。自分が行った学部の内容を始め、大学生と高校生ではどう違うか、実験の様子などいろんなことを聞いたり見たり学んだりしました。自分にとって難しかったり興味を持てたり感動したりすることがいくつかありました。実験は案外地味な作業だったけど、そのあとのことを考え実験を続け、結果が出てくると考えるととてもおもしろそうな感じがしました。他にも下村先生の博物館にいったときは本当に驚き、とても感動しました。そこでしか見れない写真があったり論文の紙があったりオワンクラゲをつかまえた道具があったりといろんな物を見ました。そして世界に3つしかないレプリカメダルを持つことができました。その時は「うれしい」という気持ちと「すごい」という気持ちでいっぱいでした。今回の「オープンラボ」をいかしてこれからの進路についてしっかり考えようと思います。
- 僕はこのオープンラボで後藤信行先生の話を知りました。先生の話は主に力線についてでした。最初、力線とは何だろう。中学の時にしたような気が…という感じであまりよくわかりませんでした。しかし、先生が車など身近な物を例としてしようしていたのでわかりやすかったです。実験ではコイルを作りました。コイルの道具はほとんどがスーパーやコンビニでそろえることができるもので、家に帰ってからもやってみました。その他にも2つ、3つの実験をしました。今回は工学部に参加しましたが今は医学にも興味があるので、また機会があれば参加したいと思います。長大は長崎にあるので家からでも通える大学なので、交通のことなどいろいろ便利だし長崎にいると落ち着くので進路先として考えてもいるので、今回のオープンラボいい参考になりました。ありがとうございました。
- 最初、大学はあまり行ったことがないので、とても緊張しましたが、担当の先生や大学生の方々がわかりやすく教えてくださったので楽しく実験などおこなうことができました。大学の薬用植物園は広く多種多様の薬草があり、見ていてとてもおもしろかったです。成分の分析実験は高校では使用しない器具を使い、成分を取り出して自分の目で見て確認することができ、とても興味深いものでした。薬学は難しく自分には理解しこれからの生活に活かして行けるのかとても不安でしたが、自分なりに取り組み、周りの人と協力して過ごすことができました。このような機会を設けていただき本当にありがとうございました。
- 今回のオープンラボでは自分の知らなかったことを知ることができたり、自分の興味をもてるものを見つけることができ、よかったです。自分のうけた授業は「物理の実験」でその中でも特に超伝導の実験やモーターの実験がおもしろかったです。超伝導の実験では、液体窒素を使い、セラミックだけを冷やして金属に近づけたとき、セラミックは浮いて押しても動かず引くと軽くはずれ、金属とセラミックを近づけた超体で冷やすと、引いても動かなくなるということがわかり、とても楽しくておもしろかったです。
- 僕は物理の実験を体験しました。具体的には、発電か、それによる磁力についての授業でした。僕が初めて知ったのは「フレミングの右手の法則」で、左手は人差し指が磁界、中指が電流の方向を示し、そして親指の方向にモーターが回転するという法則です。そして僕の知らなかった、右手の法則は、人差し指は磁界、導線を動かす方向に親指を合わせると、中指の方向に起電力が生じるというものでした。今後、物理の授業ででてきたときにもう一度思い出したいです。実験ではそれを踏まえての「クリップモーター」の製作や「磁気浮上」を見せていただきました。特に面白かったのは「磁気浮上」の実験で、

金属か磁石の上に浮くだけではなく、その状態で冷やすと上にも上がらなくなるという現象でした。興味深い実験があったので、おもしろかったです。

- 自分は今回この長大のオープンラボに参加できてよかったと思います。自分が受けたのは物理についてでしたが、物理の講座はとてもおもしろく、興味深い物ばかりでした。自分が特に興味持ったのは超伝導体についてでした。冷やただけで磁石が離れなくなったりと、とてもおもしろかったです。将来自分は工学部に行きたいと思っているので、その気持ちが一層強くなりました。
- 自分が興味を持っていることについて学習できてよかった。将来の進路選択の為に役に立つと思う。ぜひ、続けてほしいと思った。
- 私は薬学部の「薬用植物の有効成分」についての学習を行いました。薬草には甘いもの、ミントの香りのするもの、カレーの臭いがするものなどさまざまとてもおもしろかったです。実験ではうこんとうがらしを使っていきました。いろんな方法で成分の違いをみることができ、とても興味がわきました。私がかつとも印象に残っている実験はアルミに白いものをつけたものに液をつけ、成分の違いにより炭ができたりできなかつたりするものです。とても不思議で、くわしく知りたくなりました。また、今まで使ったことのないような実験器具にも出会えました。そして、大学生の方も講師の方もとても丁寧に指導していただき、行動しやすかったです。中身の中身まで教えてくださったのでとてもためになりました。これからの学習に生かせるいいなと思います。
- 「薬用植物中の有効成分の分析実験」では、植物園の見学をして、佐藤の 200 倍の甘いはっぱを食べたことや、レモン、カレーのかおりのする草のかおりを嗅いだことが印象に残っています。実験では、高校では使ったことがない機械や器具をつかったり、見たりすることができて、とても良かったです。また、最初の説明の中で自分の家にもある植物とかも薬となる成分が入っていると知り、身近なところにも薬はあるんだな、と感じました。今回のオープンラボで知ったことはたくさんあるので、それをこれからの進路を決めるのに使うことができたらいいな、と思います。
- 僕は「物理の実験」の講座を受講しました。講座では家にあるような、クリップ・電池・紙やすり・エナメル線だけで簡単なモーターを作ったり、超伝導体の実験でセラミックを液体窒素で冷やすと磁石の上に浮き、押しつけても反発し、今までに体験したことのない実験でとても興味を持ちました。また、へそで茶がわかせるかということによって温度に差ができることによって発電することのできる発電機というもの初めて見るもので、その発電機に手で回して発電するやつをつけたら熱くなったり冷たくなったりしておもしろかった。オープンラボで初めて見た実験にふれてみて、物理に対して興味がわきました。
- 僕は「暗号と数論」に参加させていただきました。内容はとても難しかったです。「証明」などの興味深いものもありました。時間があつたらまたやってみたいと思います。今日、インターネットが普及し、暗号は必要になってきています。しかし、暗号が見破られ、被害が出ることもあります。そうならないためにも暗号が効果されればいいと思います。
- 今回の講義は、これから私が生活していく上で、必ず役立つ時がくるだろうと思いました。私の今の志望している進路の中に、薬学部という選択肢はなかったのですが、今回の実習を通して、とても興味を持ったので、これからもっとくわしく調べていきたいと思いました。実習の内容は有効成分の確認という今の私の知識では理解するのは難しかったのですが、大学の先生や大学生の先輩が優しく、分かりやすく教えてくれたので、良かったです。大学生の先輩方ともたくさん色々な事を話せて、自分も早く大

学生になって楽しい生活を送りたい！！と思いました。カレーの臭いがする葉っぱが食べれるのかどうか気になりましたが、自分で調べようと思います。とても貴重な体験をありがとうございました。

- 今回のオープンラボでかなり大学のことを知ることができた、と思います。薬学部に参加したのですが、かなり良かったと思います。大学の研究室には、薬品、設備などがすごく、かなり驚きました。植物園にも行ったのですが、かなり多くの植物が栽培されていたり、詳しい説明を下さったのでわかりやすかったです。
- これから大学や学部を選ぶ上でとてもいい判断材料になりました。高校生でもわかりやすく教えていただけてとても良かったです。初めて本格的な実験をしたので良かったです。また、新たな発見もあり、とても充実した一日になりました。お忙しい中、時間を作っていただき、ありがとうございました。この「オープンラボ」でのことを参考にしてこれからの進路につなげていけたらいいと思います。いつかまたオープンキャンパスなどにも行ってみたいと思います。本当にありがとうございました。勉強頑張ります。
- 実験方法をいろいろやってみることができたが、内容が難しかった。実験結果を確かめるたくさんの方法も初めての事ばかりでついていくので精一杯だった。一番の印象は実験というのは大変だということ。時間はたくさんかかる。たくさんの器具を使って確認していく。自然の中にあるものを人が調べるためにはたくさんの人工物が必要だということがよくわかった。
- 普段見たり、触れたりできないものを実験できてよかった。超伝導体などは、名前をきいたりしたことはあるけど、実際どんなものなのかはよくわかりませんでした。本物を見たときは本当にすごかったです。今日は本当にいい経験できました。
- 自分は物理の実験に参加しました。モーターのしくみを学び、エナメル線を用いてコイルを作ったりしました。液体窒素を使った実験では、特殊な金属を冷やし、それを磁石の上に置くとそれがうく、といった実験をしました。モーターのしくみのところではフレミング右手の法則をつかい、理解することができました。今回の講義は自分の将来を考えるうえでとても重要なものだと思います。今回の講座を生かしていこうと思います。
- 今回のオープンラボに参加して、工学とはどのようなものか、というのを知ることができました。元々、工学に興味はあったのですが、具体的にどのようなものか、とかは知らなかったので、今回オープンラボに参加させていただき、実際にやってみることで、工学について学び、より興味を持つことができました。特に、PCを使っての作業がとても好きなので、プログラムを書きかえたり、という作業がとても楽しく、自分の好きなようにLEDを光らせたり、モーターを回したりアームを動かしたり、というのがとても楽しかったです。「こういうふうにしたい！」→「そのためにはどうすればいいのか？」を考える課程がパズルのようにとても楽しく、さらに色々なプログラムがあったし、きっと他にもあると思うので、そういう事も学んでみたい、と思いました。特に最後の方のアームを動かしたりするプログラムは難しかったし、あまり触れなかった部分もけっこうあったので、次やるとしたらもう少し長めに時間をとってほしいな、と思いました。
- 以前に、下村脩博士が受賞されたノーベル化学賞でその内容が、オワンクラゲから緑色蛍光タンパクを取り出し、科学に応用・発展させたということです。それで、オワンクラゲの蛍光タンパクを実際に観察してみました。この経験は僕が今後医療に関する研究にとっても役立つのではないかと思います。将来

医学部に行って、たくさんの知識を習得し、臨床医になっていれば良いなあと思います。医者になってたくさんの苦しんでいる人々を救えたらいいなあと思います。この経験を十分に生かしていきたいと思います。

- 今回は薬学部のオープンラボに参加しました。まず最初に驚いたのが、長大の薬学部には植物園があり、そこには麻薬などのもととなる植物も植えてあるということです。植物園の案内・説明をしていただいたのですが、砂糖のように甘い味がするもの、レモンやカレーなどのおいのものなどさまざまな植物があって、とても興味深かったです。実験室には私がまだ見たことも聞いたこともない実験道具をたくさん使って実験をやることができとてもいい経験になりました。
- 工学部のオープンラボに行きました。実験や実習が中心で破壊についてや、溶接をして、工学についての興味がわいてきました。また、電子顕微鏡で割れた鉄の断面を観察し、折れた時の温度によって断面に大きな差が生まれることに驚きました。今回のオープンラボでの体験は他ではできない事ばかりだったので非常に楽しかったです。今回の体験を今後の進路選択に生かして行きたいです。
- このオープンラボで初めて大学へ行き、初めて大学生が行っている研究などを実際に体験できてとても良かったです。自分は医学部の「蛍光タンパクを観察しよう」というのに行き、これは自分たちの先輩になる下村先生が発見したものであるということで、とても興味を持ってすることができました。自分たちの高校生にとっては、なかなか難しい内容で、把握しづらいところもありましたが、大学の先生方の分かりやすい説明で、実験などスムーズにすることができました。実験では、5種類の薬品を混ぜて過熱を1~3回に分けてすることでDNAの蛍光タンパクという物質が増えて、それにより発光する量も多くなっているということが分かりました。とても楽しく実験をできて、良い経験になりました。
- ぼくは〇〇先生を楽しみに来たのですが、いなくてとても残念でした。でも助教や院の先生方もわかりやすく楽しい授業や体験で充実していました。ありがとうございました。
- 今まで知らなかったことをたくさん学べたのでよかったです。使ったことのない実験器具や設備がたくさんあり、それを使っての実験は高校とは違い高度ですごかったです。進路はまだ決めていないけど、この経験を進路決定につなげていきたいです。
- 今回は有機化学についての講演がありました。その中で日本の薬の歴史について学んだ中で、昔の日本の薬学の荒れ様を知ることができました。また実験を体験することで、高校と大学のレベルの差を感じました。今日学んだことを将来へ生かすよう、これからもさまざまなことを学習していきたいと思いません。
- GNPの発見からそれを医療に応用するまでの流れが興味深かった。また、がん細胞が栄養さえあればいつまでも増え続け、生き続けることができる、というのは新しい発見で驚いた。GNPの作製では、研究者が使うような実験器具を用いて、学校ではできない貴重な体験をすることができた。
- 私が参加した薬学部の講座では、普段私たちが病気をしたときによく飲んでいる薬にふくまれている材料の構造や、薬学部についての詳しいことを学ぶことができ、自分の進路にとって、とても勉強になりました。また、私が一番心に残った体験は下村博士の博物館へ行き、ノーベル賞のメダルを実際に手に取って触ったことです。とても貴重な体験をさせていただいたと同時に、私も下村博士のように難しいことでも努力しているんなことを可能にしていきたいと思いました。この薬学部でのオープンラボで私の知らないさまざまな世界を知ることができ、とても楽しかったです。今まで以上に薬学部に興味をも

つことができました。このオープンラボに参加できたことに感謝し、これから生かしていきたいと思えます。

- 自分が今までに知らなかったようなことを知ることができた有意義なものだったと思います。植物園の葉草を観察した時、その植物の味を確かめたり、香りを確かめたりと、普段はしないことを体験できたので、色々学ぶことができました。薬学への道へ進みたいと思っているけど、まだ細部まで決めていないので、このオープンラボの経験を自分の進路を活かすことができる大切な機会となりました。
- 今回オープンラボに参加して高校ではできない体験をさせてもらい、本当に良かったと思っています。3時間の中で、私が一番印象に残っているのは、行動実験です。すごく楽しいゲームソフトで脳についてわかるときいて驚きました。この実験の中で一番驚いた発見は、自閉症の人は、顔の違いを認識する能力が低いということです。顔の違いがあるかのゲームは実際私もやってみてすごく難しかったです。また、指の長さについても本当に驚きました。今回のオープンラボでは、脳科学が一体どんな学問なのか少し分かったと思います。もっと勉強してみたいと、更に興味がわきました。今回学んだことをこれからの進路に生かしていきたいと思えます。
- 今回の「オープンラボ」では、自分の知らなかった「工学」について学ぶことができました。ぼくは、勝田順一先生の「破壊」について学ぶところに参加しました。破壊は、ものを壊すだけではなく、ものの耐久力や壊れた原因までわかるというところに驚きました。また、研究のプログラムまで自分たちで作っていると聞いたので、本当にすごい技術を持っているんだなと、思いました。また、溶接でも、先生たちの技術力に驚かされました。自分は将来、薬学系を目指していたので工学の良さを知ることができて、よかったです。将来はもっといろいろなことを調べてから決めようと思いました。
- 僕は薬学部の「有機合成科学実験」を体験しました。准教授の話聞いて、後半部分に鏡同体についての話がありました。形が左右対称なのに性質が大きく異なるというのがとてもおもしろいと思いました。実習では、注射器を使い、メタノールをビーカーに入れることができ感動しました。分子のモデルを見て、形が左右対称でもきれいに重ならないということを確認できました。また、反応前の物質と反応後の物質では機械で光を当てた時に影の出来方が違って不思議に思いました。グラフからもその違いを確認することができました。そして、実験室には自分が見たことのない実験器具や機械がたくさんあり、化学に対する興味がどんどん高まってきました。最後に「下村修記念館」を見学しました。下村博士に関する多くの写真、書物がありました。その中で、下村博士は自分の人生を「偶然」と述べられていました。数々の偶然の中からノーベル賞を受賞されたということは素晴らしいことだと思います。また、展示場所が指定された写真もあり驚きました。そしてノーベル賞のメダルのレプリカに触れることができたことに、非常に感銘を受けました。レプリカは、三つまでしかつくることできないということなので、さらに驚きました。しかしながら、長崎大学には「寄贈」ではなく「貸出」ということが残念でした。今回のオープンラボは、自分の将来を決めるのに、かなり参考になりました。本当に有難うございました。
- 今回のオープンラボで僕は医学部で蛍光タンパク質についての授業を受けました。内容は高校一年生にしては少し難しかったですが、新しいことを学べたり、蛍光タンパク質を観察するために実験ができたりと、初めての体験が多くて、とても充実した時間を過ごすことができました。この講座を通して、蛍光タンパク質がこれからどういうふうに関係していくのかや、がん細胞と蛍光タンパク質の関係につ

いて興味がでました。諫早高校出身の下村博士とも深い関係のある分野なので、この講義をきっかけに、今後の進路に役立てていきたいです。

- 大学で実際に学んでみて、高校と違っている部分があったので、良かったと思う。
- オープンラボは工学部の見学をし、授業を受けましたが、本来は薬学部の見学を希望していたので薬学部を見たかったです。定員を増やしてほしいです。
- 暗号は日常生活でもよく使われていて、なくてはならないものになっているものだなと感じました。そして、その暗号は膨大な数の数字が組み合わさってできているものだと改めて気づかされました。そして、歴史上とても古くから存在していて、大切なものなんだなと思いました。また、自分で解いてみる問題では面倒な計算がたくさんできてきて、解読するのは大変そうだなと思いました。
- 先生の話が予想以上に難しく、多分 6 割程度の人達が話を理解できていなかったのもので、先生が黙々と話してしまうという現状になり、とても残念だった。なので、聞く側の理解を考慮しながら話をしてほしかった。また実験においては皆が参加できており、とても楽しく為になったと思う。
- 将来のためになるものになったと思う。
- 自分は脳というか、心というか、そういうことを大学で勉強したいという思いは、あまりありませんでしたが、少し興味があったので選んでみました。けっこうおもしろくて、こういう分野の学習もいいかもしれないと思いました。
- 心というか、脳だとか、そういうものに少し前から興味があったので、今回のオープンラボに参加できてよかったです。
- 楽しく学べてよかったです。
- 実験の説明もわかりやすく、とても楽しくオープンラボを体験できてよかったと思う。
- 大学で研究していることに触れる事で、自分の進路について考えることができました。
- 高校の授業でしないようなことをしておもしろかった。
- 高校ではできないような体験ができてよかった。自分は第一希望ではない学部に行ったのだが、興味をひかれまだ学部を固定させるには早いかと思った。若干難しいこともあったが、大学に行く意欲が上がった。
- 長崎大学の授業を初めて受けることができ、「暗号」についてのもので内容は難しく理解するのは難しかったです。雰囲気や大学生の日常などもみることができて、とても魅力を感じました。機会があれば、工学部の分野などもみてみたいです。
- 時間が長い上に、少し難しい話だったので、途中で眠たく感じることもあった。しかし、とてもためになる話だと思いました。高校生でもわかりやすい内容だと次も参加したいと思いました。
- 普段の学校生活の中ではあまり経験できないような実験を体験することができて、とても貴重な体験をすることができてよかったと思いました。
- 今回のオープンラボでは、高校では体験できないことがあってとても楽しかった。
- 難しい話が多かったけれど、ある程度理解できるほどやさしく説明してくれたため、理解できた。しかし時間が短かったため深くは理解できなかった。
- 実際に大学内を見て回り、学生たちと話すことができたことで、大学生活をイメージし、より目標をはっきりとさせることができた。

- 実験内容は難しくて分かりにくい所もありましたが、大学院生の方々や先生が丁寧に教えてくださったので良かったです。高校では経験できないような実験だったので、貴重な経験になりました。
- オープンラボでは自分で実際に体験することができたので、いろいろと面白かったです。少し内容が難しい部分もありましたが、わかりやすくおしえてもらえたので、とてもよかったです。
- 楽しかったです。
- 学校では学べないことを学べ、知識を深めることができたので良かったです。
- 薬の成分についてよくわかっておもしろかった。
- 学校で習っていることより先の事を詳しくやったので、とても興味深いものでおもしろかった。実験はとても充実しておもしろかった。大学の様子も分かったので、とてもよかったです。
- 脳の働きなどに興味があったので参加しました。実験はとてもおもしろいものばかりで、もっと人間の脳について知りたいと思いました。
- 実際に使っている機械を使わせてもらったりしてとても楽しかった。
- オープンラボに参加したのは初めてでしたが、すごく楽しかったです。説明だけでなく、ちょっとしたテストや実験があったので、ずっと集中してすることができました。
- 大学での実験なども体験することができ、その時だけ大学生になったような気持ちになりました。その内容はとてもおもしろく、分かりやすい説明だったので、理解もしやすかったです。大学院の方とも話をしながら行ったので、とてもたのしく大学の事についても知ることができて、充実した時間になりました。また、実際に志望している大学のオープンラボに参加することで、勉強へのやる気も出ました。今年の経験を忘れずに、合格に向かって少しずつでもがんばりたいと強く思いました。
- 学校の授業ではできないようなワンランク上の実験ができたのでよかったです。また光るタンパク質をパソコンを通して見れたことがよかったです。三年生でも参加出来たら他のものに参加してみたいと思いました。
- ノーベル賞をとった蛍光タンパクの実験を実際に自分の手ですることができて、とてもいい経験になった。説明もとても分かりやすく、内容を理解することができてよかったです。
- 話が難しくて、分からないところがたくさんあったけど、実験はおもしろくて楽しかったです。また機会があれば、参加したいと思いました。
- 大学のオープンラボなので、高校ではまったく触れないような高度な内容にもっと触れてほしかったです。
- オープンラボでは電磁気分野での実験を行ったが、現在の高校の授業内容とマッチして理解が深められた。しかし、原理を理解しつつ、最先端技術の応用に触れることも少ないので、オープンラボは今後も行ってほしいと思う。
- もっと時間があれば…という言葉は何回も聞いたので、もっと時間が長ければもっと満足できたのかなと思い、③は満足にさせて頂きました。もっと知りたいこともできたので、長崎大学の工学部へ行きたいとより強く思うようになりました。何も知らなかったけれど、説明もとても分かりやすかったです。本当にありがとうございました。
- 今回のオープンラボでは、いつも習う事とは違って、進数などを使った内容だったけれど、進数の考え方から教えて頂きとても分かりやすかったです。実際にマイコンを使って操作して、理解とともに楽し

む事ができました。

- とても楽しく学べたので、より一層入りたいと思いました。これから勉強がんばりたいです。
- 大学生の皆様が親身してくれたため、オープンラボの内容がわかることができました。Pic マイコンはいろいろな命令をさせることができ、しかもとても求めやすい価格でした。工業にはこんな様な知らなかったことがてんこもりだと思うと、とてもワクワクしました。
- オープンラボに参加して第二希望になったので正直あまり乗り気ではなかったんですけど、参加してみると先生も大学生の方も優しくて陽気な方々だったので、楽しく三時間過ごすことができました。
- 高校では実験の授業が年に 1.2 回ほどしかないので良い経験になった。
- 私は DNA に興味があったので、子宮頸がんの細胞の DNA をみることでとても面白かったです。また高校にはない倒立顕微鏡や正確な量を吸い取れるピペットなど様々な機器を使用することができ、全てが新鮮でした。DNA にさらなる興味が湧いた。楽しく為になるオープンラボでした。
- 大学で、今まで写真や映像でしか見たことのなかった器具を実際に見たり使ったりすることができて、とても良い経験になりました。興味がある DNA について、たくさん学ぶことができてよかったです。
- 説明されて分かりはするが、「これするのに三時間くらいかかるから」と言われて出されたものがあつたが、その三時間分をやりたかった。三年間、夏休みに長大へ行って実験させてもらったが、一年時にやった DNA で、耳あかがウェットかドライかを調べたやつが一番おもしろかった。二年前にはなるが、どういう事をしてどういう結果だったかも覚えている。時間は楽しいものであつたら長くてもいいが、感じ方はそれぞれだろうし、そのままいいと思う。
- ビデオや実際に実験や観察をすることができ、今まであいまいにとらえていた部分が少し理解できた気がしたので参加して良かったです。
- 最近学習した内容が含まれていたので興味を持って聞くことができたし、実際に体験することもできて楽しかったです。
- リポリームの働きなど、学校で習ったところで想像する事しかできなかったところのビデオをみることで、あいまいなところがなくなって良かったです。キャンパスを間違えていた人が多く、開始時間が遅れたのは少し気になりました。
- 細菌を実際に見ることも育てることも初めてだったので、とても良い経験になりました。和田先生、ありがとうございました。
- とても良い体験ができました。コロニーを見たのは初めてで、どのように作るかわかって、これかたの一生に役立つような気がしました。
- 光る微生物をもらいました。コロニーもできました。うれしかったです。ドラえもんが光りました。成功してよかったです。
- 今まで使ったことのない実験器具が使えてとてもよかったです。そしてとても良い経験になりました。
- 実際に薬を作ってみて、薬学に興味を湧いた。

◎ 平成 23 年度オープンラボに関するアンケート調査表 (教員集計結果)

1. 開催時期：

| | |
|---------|----------|
| ①適切であった | ②適切でなかった |
| 15 名 | 1 名 |

(②と答えられた方は適切な時期をお書きください。):

- 開催時期と私のスケジュールが合わず、キャンセルをお願いした。開催時期の決定や連絡は、高校への連絡前に、担当教員に実施してほしい。

2. 開催時間：

| | |
|---------|----------|
| ①適切であった | ②適切でなかった |
| 14 名 | 2 名 |

(②と答えられた方は適切な時間をお書きください。):

- 同日に午前、午後の 2 回を行う場合、午前の部と午後の部の間に、後片付けと準備を行う必要がある。実験の種類によるが、休憩時間も含めると 1 時間半ほしい。午後の開催時間を 1 : 30 もしくは 2 : 00 にしてほしい。
- 現状 3 時間だが、2 時間が適当。

3. 参加者数は：

- 5 名。
- $10+9+4=23$ 名。
- 2 名。
- 19 名。
- $9+10+13=32$ 名。
- 7 名。
- $12+13+6=31$ 名。
- $9+9+5=23$ 名。
- 7 名。
- $5+5=10$ 名。
- 4 名。
- $7+5+10=22$ 名。
- 3 名。
- $7+3=10$ 名。
- $3+9+4=16$ 名。
- 6 名。

4. 参加者数は

| | | |
|---------|-------|--------|
| ①適切であった | ②多すぎた | ③少なすぎた |
| 10名 | 3名 | 4名 |

(複数回答 1名ありました)

(②, ③と答えられた方は適切な参加者数をお書きください。):

①適当であった

- 10名までは対応可。
- 1コマあたり 4.5名が適当。

②多すぎた

- 20名。
- 4名。
- 9名でも可能だが、5人の方が目が行き届くし、大分やりやすい。

③少なすぎた

- 10~15名。
- 30名/回×2回/日×2日=120名程度。
- 4名。

(無回答 1名ありました)

5. あなたが担当した今回の事業の満足度は?

| | | |
|-----|-----|------|
| ①満足 | ②普通 | ③不満足 |
| 6名 | 9名 | 1名 |

6. その根拠は何ですか?

①満足

- 内容を変更し高校生が必要と思われる内容にした。有効数字やノギスなどで長さを測定し副尺の原理。慣性の法則、作用反作用の法則を示す実験と応用例。予告していた髪の毛の強度測定を行った。全員内容は大変良かったと答えてくれた。
- 受験生が熱心であった。
- 貴重な機会で、高校生に研究を知ってもらったり、体験してもらったりし、啓発ができたと思うため。
- 人数的にちょうど良かった。9人でも可能だが、5人のほうが目が行き届くし、大分やりやすいと思った。
- 学生が熱心に聞いていた。
- 講義した内容に対して興味を持ってくれた生徒が何人かいて、実施した甲斐があった。一方で、理系志望にしては、数学に対する関心が少ない点がやや物足りなかった。

②普通

- 受講者が少々少なかった。
- 相手の知識や興味の程度が色々ですので、こんなものかなと思います。何人かの学生さんは、興味を示してくれたように感じました。
- 予定していた実験は問題なく行えた。
- 高校1年生の参加者が多く、化学をあまり習っていないようでしたので、もう少し配慮が必要と思いました。
- 当初の予定では、アンテナ製作3時間としていたが、4時間でやっと完成した。そのため、講義を丁寧にできなかった。
- 研究室の内容の説明と、研究室の代表的で、高校生にも理解しやすい2つの研究課題の一端を実験で体験してもらえたので。
- 参加する生徒の動機付けがあいまいではないかと思います。学校からの強制で、参加した生徒もいました。本人は一所懸命聞いてくれましたが。
- 約3時間（午後1時から4時までの間）で、実施できる内容は限られており、こちらで準備した実験の説明と操作を円滑に進めることが重要である。今回は概ね予定どおりに実施できたとともに、参加した高校生の反応もそれなりに得られたため、満足度としては中程度とした。

（無回答1名ありました）

③不満足

- 受講者が少々少なかった。開催時期と私のスケジュールが合わず、キャンセルをお願いした。開催時期の決定や連絡は、高校への連絡前に、担当教員に実施してほしい。

（無回答1名ありました。）

7. 何か問題がありましたか？

- 高校生が内容を見て、選択するときに2, 3行の説明までを書いてもらいたい。高校生によると1行ほどだったとのこと。提示した内容が悪かった。もう少し物理の基礎実験などを示すべきだった。
- 対象者に事前に接する機会や連絡方法がないため、事前準備を含めた検討まではできなかった点。
- 仕方ありませんが、学生さんの遅刻は少し厳しいですね。
- トータルの人数はかまいませんが、1回の講座の人数にはスペースの関係上、ご配慮いただきたいと思います。1講座当たり、10人以下がベストと思います。
- 参加する生徒の服装について、こちらの希望が十分に伝わっていませんでした。綿の長袖、長ズボンという指示だったはずですが、ジャージや体操服でした。
- オープンラボの概要で提出していた内容が、高校生にはほとんど伝わっていませんでしたので、講義内容と高校生の興味のミスマッチが心配になりました。
- 特になし。9名

（無回答1名ありました。）

8. 改善すべきことがありましたら、記載願います。

- 講義可能な日と時間帯を事前に調査したほうがよいと思われます。
- 昼休みの時間をもう少し長くしてほしい。
- 高校側が多岐に渡るにせよ、高校側からも各講座に引率の教員等を手配して頂き、取りまとめて頂けるとありがたい。
- それぞれでしようが、教室の他の研究者に、実験上の迷惑がかかりますので休日の方が良いのではないかと思います。
- じっくりと実験をさせるには、一度に4名以下が望ましい。
- 今年は全員が制服であった。危険がないように配慮しているが、できればジャージ等汚れてもよい服装で参加することを呼びかけてもらいたい。
- 本事業への最初の申込書「H23 教育調査依頼登録用紙」には、小・中・高とあり、高校生向けの申込書が必要である。それが無いためか、高校生向けに特化した内容を記載できず、高校生に対して、魅力のある内容に見えなかったのではないか。学校側への連絡時に十分な内容説明が出来るシステムが必要。事務側と教員側の十分な打ち合わせと共通理解が必要。上記の内容もそうですが、昨年このアンケート内容に対する改善をお願いしたい。また、改善内容についても連絡願いたい。
- 折角来た、学生さんに、長崎大学のPRする機会があればもっと良い。
- 連絡が学務係からであったものが、担当者直接の連絡になり、工学部の学務係からどうなっているのか問い合わせがあった。事務間の連絡をきちんとしてほしい。TAの院生は、事前の打ち合わせや準備、事後の片付けも行ってくれており、雇い上げ時間は、実施時間のみは少なすぎる。
- 多人数相手だと、反応が見極めにくいので、5人程度の人数がちょうど良いと感じました。用意した内容を適当に取捨選択しながら、雑談も交えて進めるのがうまくいきました。3時間を3コマはちょっときつuitと感じましたが、実は3回目が一番うまくいきました。
- 参加する高校生に対して、実習内容について事前学習を行う機会があれば良いと思います。
- 特になし。5名

9. その他、本プロジェクト推進に関してご意見をお聞かせください。

- 受講者がいくつかの高校に限られていたが、マスコミなどを使って大々的に募集してほしい。
- 今後とも是非、長崎大学の良さを啓発して行って欲しい。
- 8. と関わりますが、共同利用施設などの準備を整えば、もう少し効率よく実施時間・高校への案内も含めて出来るのではないのでしょうか？ また、参加して頂ける教室も増え負担が減るのでは？
- 学生の希望と、参加できる研究室が一致していない気がする。参加校にどのような分野のラボを見学したいかアンケートをとり、それを参考にして公開する研究室を決めた方が良いのではと考える。
- 参加者にとっては、大学の研究室で実験を行ったり、いろいろな設備や器具に触れることはとってもいいことだと思いますので、将来も継続して頂きたいと思います。
- 本プロジェクトが定着しつつあることを実感しています。あまり人数が増えるのも困りますが、徐々に浸透していることをうれしく思っております。
- オープンラボの実施時間を6時間に増やしてもらったので、講義とアンテナ製作を行うことができた。製作した地デジ受信アンテナは、受講生の自宅で使えるように、提供したが、テレビの受信状況の結果を知りたい。
- 長崎大学の教職員に、当日にCSTがあっていることをPRしてほしい。
- 今回の事業では、オープンキャンパスの際の実験&実習とは別の内容で行ったが、オープンキャンパスの事業との関係が良く理解できていません。今回の事業は、大学の研究室内での研究内容を、より深く理解してもらうのが、主目的ですか？趣旨を余り理解しておらず、事業を引き受け、さらにこのような質問をして蟹蟹ものかもしれませんが、良く理解できていません。
- イマイチ、高校側の位置づけと主催者側の主旨が一致していないように感じ、折角行う事業の成果が不明であると思う。ただ、やったというだけではむなし。
- 普段接している工学部の学生でも、理数系の科目に対する関心が薄いので、高校生の興味を引き出すという点で、重要なプロジェクトと感じます。高校の授業が1年次から試験対策中心になっていることを考えると、早い時期に動機付けの機会を与えてあげるのがよいと思います。
- 参加した高校生からの意見・感想を見せていただけないでしょうか？

(無回答4名ありました。)

未来の科学者発掘プロジェクト支援室